

H25 シカ年度(平成 25 年 6 月～平成 26 年 5 月)捕獲結果

実施主体	地区	手法	実施期間	実施回数(日数)	捕獲数(合計)	うちメスad	うちオスad	うち当歳	不明	地区合計
環境省	ルサ-相泊	流し猟式シャープシューティング	1月～4月	10回	78	46	17	15	0	208
		囲いわな(2基)	1月～4月		130	79	19	32	0	
	幌別-岩尾別	囲いわな(2基)	1月～3月		118	53	21	44	0	207
		仕切柵による囲いわな式捕獲	1月～3月		87	56	14	17	0	
		流し猟式シャープシューティング	4月	1回	2	1	0	1	0	
知床岬	巻狩り(仕切柵利用)	4月～5月	2回	9	2	5	2	0	9	
林野庁	ウトロ地区	囲いわな	12月～5月		41	14	3	24	0	41
斜里町	ウトロ周辺	囲いわな	2月～5月		91	41	3	-	47	121
		吹き矢	6月		1	1	0	0	0	
		銃器	6月～2月		29	15	14	-	0	
羅臼町	羅臼町内	一斉捕獲	6月、2～5月	27回	227	162	65	-	0	227
合 計					813	470	161	135	47	813

※知床半島エゾシカ保護管理計画の対象範囲内の捕獲結果

※遺産区域内はルサ-相泊地区、岩尾別地区及び知床岬地区(環境省事業)

知床岬における植生指標(植生別・段階別)

段階	項目	指標	モニタリング項目	対象植生別の指標となる種・属性(種名のみは被度)					(参考)経過年
				代償植生草原	ササ草原	高茎草本草原	風衝草原	広葉樹林	
1	草原現存量の増加	優占種の現存量増加	現存量・被度・植生高	イネ科草本の高さ、草量	クマイザサ高さ	植生高(嗜好種合計被度)	(ガンコウラン面積)	(広葉樹下枝被度)	1~3年
		不嗜好性植物(反応早)の衰退		アメリカオニアザミ	アメリカオニアザミ	(エゾオオバコ)			
2	嗜好性植物の回復	嗜好性植物(反応早)の増加	個体数・被覆面積・高さ	クサフジ エゾイラクサ シレトコトリカブト	クマイザサ高さ クサフジ アキカラマツ	植生高 嗜好種合計被度 クサフジ ヤマブキショウマ エゾノコギリソウ エゾノシシウド アキカラマツ イブキトラノオ オオヨモギ アキタブキ	ガンコウラン シャジクソウ チシマセンブリ	嗜好種合計被度 エンレイソウ類 サラシナショウマ チシマアザミ 広葉樹合計被度 稚樹密度 広葉樹下枝被度	4~7年
		不嗜好性植物(反応早)の衰退	個体数・被覆面積	(ハンゴンソウ)		エゾオオバコ カラフトイチゴツナギ (トウゲブキ)			
3	希少種等の回復	嗜好性植物(反応遅)の増加	開花個体数・被度%			エゾゼンテイカ(オオヨモギ)	シャジクソウ チシマセンブリ	嗜好種合計被度 マイヅルソウ 稚樹密度	8~10年
		不嗜好性植物(反応遅)の衰退	開花個体数・被度%	ハンゴンソウ?		トウゲブキ	ウシノケガサ	ミコウモリ・シラネワラビの減少?	
4	植生としての回復	種組成・現存量の安定	多様性・総現存量・被度					安定的な更新	11年~
		過去の目標植生の回復	基本構成種の合計被度						

※「経過年」は囲い区でのモニタリングにおける、各植生回復段階に対応する柵設置から経過年数(参考値)